

6

電信課長

大臣

次官 **馬**

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 會計

寫送先

分類 16.1.5.1-2-5-4

昭和3 一七三九九 略

本 哈爾濱 十二月三十日後着

情

田中外務大臣

八木總領事

第二九七號

往電第二九四號

易幟問題ニ關シ本三十日當地支那側機關紙露文公報ハ其ノ社説ニ於テ由來支那ノ外交力受動的ニシテ且隱忍時機ヲ俟ツコトヲ要諦トシ居レルハ外國外交ニ比シ顯著ナル點ニシテ此ノ外交術ハ東三省ヲシテ其ノ地ニ於ケル複雑ナル國際問題ヲ能ク解決セシムヘシ是等問題ノ一タル東支問題ニ關シ張行政長官ハ蘇支兩國間協約ノ嚴正ヲ指摘セルモ事實ニ於テハ兩國ノ完全ナル相互主義ハ兎角保

訂録 蘇支關係ニ關シ 張世英村南方各協定 東三省易幟問題

外務省

S 161533 071

持セラレス東支職員折半ノ如キモ公平ニ行ハレサルカ南北合同セ  
ル今日支那カ隱忍シ得サルハ歴史ニ徴スルモ明カナリ云々トテ暗  
ニ支那側將來ノ對東支策カ硬化スヘキヲ諷シタルカ之ニ對シ共產  
黨機關紙「モルワ」ハ東三省ノ易幟問題ハ豫テ奉國間ニ書カレタ  
ル筋書ニシテ只今回之ヲ表現セルニ過キササルヲ以テ事實上政治的  
又ハ社會的ニ左迄重大ナル意義ヲ有セルモノニ非ス然レトモ易幟  
ノ結果支那カ統一セラレ從テ今後當方面ニ對スル政策モ南京政府  
ノ方寸ニ出ツヘキハ否ム能ハス而シテ南京政府カ東支問題ヲ含ム  
蘇支關係ヲ一九二四年ノ蘇支協約ニ依リ調節スヘキヤ將又依然從  
來ノ如キ不定ナル對蘇聯政策ヲ持續スヘキヤ不明ナルカ後者ハ徒  
ニ滿洲ニ於ケル蘇支關係就中東支問題ヲ紛糾セシムヘキノミナル

外務省

S 161533 072

ニ鑑ミ同政府カ之ヲ避クヘキヲ吾人ハ信シテ疑ハス云々ト論セリ  
露、北京、奉天、吉林、上海、南京、長春、滿洲里、齊々哈爾へ  
暗送セリ

外  
務  
省

S 161533 073

REEL No. A-0783

0538

アジア歴史資料センター

外務省

(分類 16.15.1-2-2-2)

二遣善三

奉天ノ易幟ニ對シ右方面未ク何等ノ反響有ラ

認メズ  
張守昌之文遣 嚴當地經由轉送ノ件無期  
延期トナレリ

三十日

海軍次官  
軍令部次長

三三三三。 伊地知第三遣外艦隊司令官

赤丸印 本署 署名 湯川

S

161533

074

REEL No. A-0783

0533

アジア歴史資料センター

領事局

昭和二十五年十月五日 授受

公第一六號

昭和二十五年拾貳月卅日

在武市

領事 平塚晴

外務大臣男爵 田中義一殿

里河市、青天白日旗掲揚ノ件

當地對岸里河市ニ於テ從來諸官衙等奉天側ニ隸屬ノ關係上  
舊五色旗掲揚中慶十二月廿九日以來諸官衙並各商店等  
一律之ヲ青天白日旗ニ改メ掲揚中ナルガ一般支那民衆ハ今後  
戰禍ニ強マカル、事ナカルベキナラズ近來奉天側ノ重税ニ苦シ  
居リタル折柄トシテ將來諸多ノ課税ニ輕減ナルベク豫想シテ南  
京政府ヲ詠歌スルモノ多ク市内ノ平穩平日ト異ナラズ二十九日夜ハ

612E.015

第10

官民有志合同ノ祝賀會ヲ開キテ尚里河道尹張壽培ハ  
其前日打合セ、爲ト稱シ急遽奉天ニ向ケ去發セル趣、  
右何等詳考迄不取敢報告ス  
本信寫送付先  
在支臨時代理公使  
在哈爾濱總領事  
在齊齊哈爾總領事

S

161533

076

S

161533

075

極秘

昭和三年十二月三十日

在間島

總領事代理市川信也

各分館主任 殿

對支態度ニ關スル件

拝啓陳者本件ニ關シ別紙寫ノ通り警察部長ヨリ管下各署長宛通達スル所アリタルカ現下ノ情況上概不談趣旨ニ依リ我方ノ態度ヲ決スル様致度御参考迄内報申進候 敬具

本信寫送付先

本省亞細亞局第一第二課長

在支公使 奉天、吉林、哈爾濱各總領事

S 161533

078

S 161533

077

REEL No. A-0783

極秘

昭和三年十二月三十日

相場警視

各署長分署長 殿

支那側ノ態度ニ對スル注意方ニ關スル件

拝啓陳者支那側時局ノ推移ニ關シテハ巨細報告  
セラレアル處ナルカ近時新道尹ハ特ニ我警察機關ノ  
行動ニ對シ監視並對抗ニ關スル訓令ヲ發シ或ハ理  
不盡ニ我方ヲ制壓セムトスル態度ニ出テムトスルアラサル  
ヤ測リ難キノミナラス昨二十九日易幟ト共ニ民間ニ於テ  
モ此ノ際利權回収ニ藉口シテ排外的氣勢ヲ擧ケムト  
スルノ情勢ニ在リテ動モスルハ日支關係ノ悪化ヲ虞レ

ラルトニ就テハ此際我方ハ一層慎重ノ態度ヲ持シテ  
之ニ處スルヲ要スヘク差當リ左記各項ニ付特ニ御考  
慮ノ上萬遺策ヲキテ期セラレ度氣付、候貴官注  
意方御参考ニ進申進候 敬 具

一 我警察ノ態度及行動ニ就テ  
支那側トノ正面衝突乃至積極衝突ハ之ヲ避ルニ務  
注意スヘキハ從來ト何等異ル所ナキモ苟モ我警察  
権行使ニ當リ不法ノ侵害ヲ受ケタル場合ハ斷乎ト  
シテ之ヲ排撃シ我威信保持ニ努メ敢テ相手ノ横  
暴ニ委スヘキニアラス從テ此ノ際ニ限り地方出張等ニ  
當リテハ可成的優勢ノ人員ヲ派シ且行動ヲ敏捷ニ  
テ出来得ル限り事故ヲ避クルニ努メ要ハ我目的ノ  
達成ヲ期スルニテ彼等ニ乘セラレ我地歩ヲ失墜

S 161533 080

S 161533 079

ニ朝鮮人民會、指導ニ就テ

スルコトナキヲ期スルニ在リ  
我朝鮮人民會ニ對シ從來支那側ハ直接干渉的態  
度ヲ避ケ居タルハ今回易幟實施ニ當リ近ク各民會  
役員ヲ召集シテ一般鮮人ノ青天白日旗掲揚ヲ強  
制セムトスル計畫アリトノ情報アリ其他進シテ民會  
ヲ利用シ漸次自國ノ政權下ニ収攬セムトスルノ態度  
ニ出ツルヤ、測リ難キニ就テハ表面形式ニ過キサル新國  
旗掲揚、如キハ強テ之ヲ拒ムノ要ナキモ若シ支那側カ  
公式ニ示達スル場合ハ主義上賛意ヲ表セムルハ不可  
ナキモ實施、承諾ハ即答ヲ避テ一應監督官廳ノ指示  
ヲ受クル形式ヲ履マレメラレ度爾餘ノ問題ニ對シテハ我  
施設ニ關係ヲ有スル事項タル限り一切即答ヲ避ケン

S

161533

081

メラル、様指導致度モ易幟問題、如キ支那側  
ノ鮮人各個ニ對シ示達ハ素ヨリ干渉ノ要ナキモ之カ  
為民心ノ動搖等ナキヲ期セラレタシ

註 易幟問題ニ就テハ鮮民トシテ支那側ノ勸

告ニ表面從フヘキモ實際新幟購入ノ経信  
資力ナク殊ニ本夏不作ニ基ク困難ヲ口實  
ニシテ婉曲ニ謝絶又ハ延引セラル等ノ手段  
ヲ採ルコトモ時ニ取リテノ方便ナルヘク参考  
近附記ス

S

161533

082

南北妥協

楊宇霆電

楊宇霆電  
易帳本情

電信寫

(分類A.6.15.1-2-8-2)

陸海參軍  
高等村清

昭和3 一七四一四 暗 奉天 本省 十二月卅一日後着

田中外務大臣

第七六五號ノ一

林總領事

東三省ハ既電ノ通新國旗ヲ掲揚セシ儘未タ新制度モ其ノ首腦者ノ  
願觸モ發表シ居ラサル處遣般ノ事情ニ關シ卅一日楊宇霆ノ藤村ニ  
語レル處左ノ通  
今回ノ國旗掲揚及新制度ノ組織モ楊本人ハ直接其ノ相談ニ與カリ  
居ラサルモ國民政府ハ十二月二十八日張學良ヲ東北邊防司令長官  
ニ張作相及萬福麟ヲ同副司令ニ任命發表スル内報アリ急ニ二十九  
日新國旗及國民黨旗ヲ掲揚セシ趣ナルカ果シテ其ノ任命發表有リ

シヤ未タ承知セス又新制度ハ熱河ハ獨立省トナリ北平政治分會ニ  
隸屬シ東三省ハ東北政務委員會ニ統轄シ國民政府ヨリ何成滯外一  
二名ヲ加ヘ其ノ他ハ東三省現在ノ軍民兩長官(吉林ハ作相省長兼  
任ノ爲一名)熱河ノ首席湯玉麟、袁金鎧、王樹翰、劉尚清、劉哲  
莫德惠等十三名乃至十五名ヲ政務委員トシ奉天吉林及黑龍江ノ三  
省ニハ省政務委員九名乃至十三名ヲ置キ其ノ首席ニハ各省長ヲ任  
命スヘク内閣セリ(續ク)

S

161533

084

S

161533

083



電信寫

昭和3 一七四一六 時

奉天 本省

十二月卅一日後着

亞

田中外務大臣

林總領事

第一六五號ノ二

又張學良カ蔣介石ノ要求ヲ容レテ急ニ新國旗ヲ掲揚シタルハ南方ノ形勢變化等ニ注意ヲ拂ハス又東三省カ之カ爲ニ國民黨下ノ急進運動ヲ來ス等ノ影響ヲ慮慮セサル傾向ニシテ自分モ甚タ不満足ニ感シ居ル處ナリ自分ハ新制度ニハ參加シ居ラス又其ノ任命アルモ之ヲ受ケサル考ナリト稱シ頗ル不平ノ口吻ヲ漏シタル趣ナリ  
宇露カ如上ノ通り果シテ國旗及政治組織ノ變更ニ何等與リ知ラザリシトハ張學良ニ對シ本人トノ從來ノ關係ヨリ見テ首肯シ難キ處

ナルト共ニ楊カ斯(ノ如キ)言辭ヲ用ヒテ學良ノ輕舉ヲ云々シ居ルハ去ル廿八日來楊カ張學良ニ對シ國旗掲揚ノ不可ヲ唱ヘテ激論ヲナシタリトノ情報ヲ日本人側ニ流布スルモノアルニ願ミ同人カ日本人側ノ感情ヲ迎合和スル爲ノ甘言ト察セラル御參考迄

S

161533

086

S

161533

085

易域内題

電信寫

ソシヤ  
ソシヤ

16.15.1-2-2

昭和4 一五 平 倫敦

本省

一月一日後着

佐分利代理大使

情

第三八六號

三十一日ノ諸新聞ハ滿洲カ白日旗ヲ掲ケ張學良カ東北保境司令ニ任セラレタル旨並ニ右ハ假令形式的ノ歸順ニ過キサルニセヨ一面日本ニ對スル獨立ヲ宣示スルモノナルコト王正廷カ滿洲ノ歸順ハ外國ノ交渉ナカリセハ更ニ早ク實現セラレタリシナラント語レルコト及日本ハ其ノ權益カ侵害セラレサル限り何等行動ニ出テサルヘシ等ノ三十日發支那各地及東京特電又ハ「ルトター」通信ヲ載セタルカ「ガイディア」ハ左ノ通論說セリ

滿洲カ白日旗ヲ掲ケタルハ實際上南京ニ服從シタルモノニアラス日本政府ハ滿洲ノ南京歸順ヲ容認スヘシトハ思ハレサルモ斯クノ如キ單ナル「ジエスチエ」ヨリ來ル結果ヲ重大視セサルヘシ然シ日本ノ傀儡ニ過キサリシ張作霖ノ後繼者カ上邊文ニセヨ白日旗ヲ掲ケタルコトハ從來嘗テナキ日本ニ對スル獨立ノ表示ニシテ事態ノ實質的變化ヲ示スモノナリ日本ハ支那トノ諸交渉行機ミ其ノ對支政策ハ今ノ處成功シ居ラス日本ノ新聞論調ハ穩健ニシテ政府ハ近年對支友好政策ヲ執リ來リ今回ノ事件ニ對シテモ政府モ新聞モ驚愕シ居ラサル模様ナルカ最近支那國民主義ノ勃興ハ支那ヲシテ日本カ滿洲ノ内政ニ干渉スルノ權利アリトスルカ如キ程度ノ特殊權益ヲ有スルコトヲ認メシムルコト益々困難ナルヘキカ故ニ時

16.15.1-2-2

S 161533 088

S 161533 087

局ハ危険ナシト云フヲ得ス然レトモ日本ノ重要視スル特殊權益カ  
存在スルユトハ事實ナレハ支那政府及地方權力者カ之カ保護ヲ約  
シ且其ノ履行ノ實力ヲ有スル場合ニ於テソミ時局モ始メテ禍ナキ  
ヲ得ヘシ  
米、佛、獨、伊、白、蘭、瑞典ニ郵送セリ

S

161533

089

REEL No. A-0783

0540

アジア歴史資料センター

27

電信課長



大臣

次官

亞細亞

歐米



條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

昭和4 四一

暗

上海 本省 一月二日後着

通亞

田中外務大臣

矢田總領事

第六號

往電第一號王正廷トノ會見ニ際シ王ハ東三省ニ於ケル青天白日旗  
掲揚問題ノ例ヲ引キタル後自分ハ此ノ電報ニ接スルヤ直ニ山東交  
渉員ニ電報シ膠濟線一帶ニ於テモ易幟セルヤ否ヤ問合セタル處易  
幟セストノ返電アリテ憤慨セリ今ヤ國民政府ハ全支那ヲ統一シ至  
ル所易幟ヲ實行セルニ拘ラス膠濟線一帶ニ於テノミ支那人カ自國  
ノ國旗ヲ掲ケントスルヲ阻止スルモノハ抑々如何ナル國ノ如何ナ  
ル權力ナリヤ全ク天下ノ奇怪事ナリ云々ト皮肉リタル由

係

外務省

北京、上海へ轉電セリ

外務省

S

161533

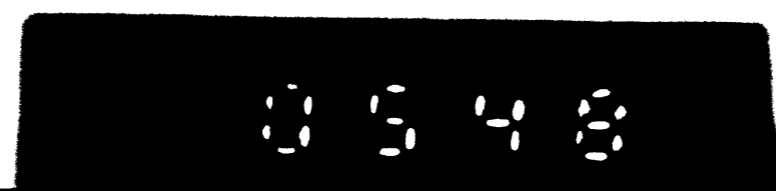
091

S

161533

090

REEL No. A-0783



アジア歴史資料センター

皇朝臣局

機密公第一號

昭和四年一月二日

在海龍

分館主任坂内弥代記

昭和四年一月八日 接受

記録付名

常

外務大臣男爵田中義一殿

青天白日旗掲揚ニ関スル件

海龍縣公署ハ客月二十七日奉天省長ヨリ易幟ノ通電ニ接シ二十八日縣民一般ニ對シ易幟ノ通令ヲ發スルト共ニ縣公署、旗幟ヲ青天白日旗ニ換ヒタルカ昨一日ヨリ市中各戸ニモ弗々白日旗ヲ掲ケルモノアルニ至レリ右ニ関シ市民中ニハ今次奉天側ノ易幟

ハ南北妥協ノ完全ナル成立ヲ見タル證存ニシテ昨今日支間ニ於ケル各種懸案ニ鑑ミ近ク兩國干戈ノ間ニ見ユルニ至ルベシトノ風説ヲ為スモノ寡カラズ右報告ス  
本信寫送付先  
在支公使奉天總領事 鐵嶺領事 通化 柵鹿各分館主任

S 161533

093

S 161533

092



(分類) 46.15.1-2-2-2

要綱班局

昭和四年一月二日

五

記録件名

第一編甲

昭和四年壹月拾壹日接受

高内

在農安

分館事務取扱 高野豊



外務大臣男爵 田中義一 殿

當地青天白日旗掲揚情况ニ關スル件

東三省ノ久シク懸念亦中ニアリシ青白旗掲揚方ニ關シ  
テハ昨一月一日ヨリ其筋、命ニヨリ當地方ニ一齊ニ改旗掲揚  
ヲ實施スリ爲シニ元旦初日ニ於テ當地縣衙第四旅團  
司令部二十三團本部高務會等各盛大ニ祝賀、懸  
ヲ卷シテト本件ニ由シ卷向反対者等更ニナシ現在  
處當地方ニ何等ノ異状無キニ尚注意敬告成申  
御参考迄報告申進ス

在長春日本領事館農安分館

本信宜送付先

在長春領事 在吉林 在奉天 各他領事

S 161533

095

S 161533

094

REEL No. A-0783

昭和四年一月四日

在通化

分館主任阿部又重郎

三浦

外務大臣男爵田中義一殿

支那南北統一通化祝賀會舉行之開スル件

通化縣ニ於テハ去年十二月二十九日易職改正ノ實行ヲ為シタル件ハ既報ノ通ナル處本月一日ヲ期シ豫定ノ如ク教育公署内ニ於テ各官廳職員並教育機關各學校生徒及一般有志者合同シ祝賀會ヲ舉行シタルニ會合者一千名ニ達シ知事及各官廳主腦者ノ祝

在奉天日本總領事館通化分館

辭アリ尚南方側ヨリ派遣シ来タリタル正党部宣傳員趙永貴鄒子青ノ二名ハ三民主義ノ宣傳不平等條約撤廢帝國主義打破日本濟南出兵惡馬排日排貨等凡有惡宣傳的演說アリ學生等ハ之ニ共鳴喧噪シタルニ郭當縣知事ハ學生ニ對シ輕率盲動ヲ戒メ學業精勵ノ勸告ヲナシ且ツ國民ハ産業教育ヲ盛ニシ先ツ内容ヲ充實シ外國ヨリ侮蔑セラレサル様訓授的演說ヲ以テ之ヲ鎮壓シ右會終了後知事ヲ始メ各官廳ノ首腦者先頭トナリ旗行列ヲ催シ市内ヲ練リ歩キシニ秩序略ヒ平靜ニシテ午後三時頃當館前ニ縣公署課長ノ率キタル一行通過シタルカ何等不穩ナル行動ナク首腦者ノ提唱ニヨリ隊員一同當館ニ對シ萬歲ヲ連呼セシニ付當館員之ニ故意ヲ表シ極メテ平穩ニシテ午後五

S

161533

097

S

161533

096

時頃無事解散セリト云フ  
右何等御参未直ニ報告申進ス

水信寫送付先

奉天總領事

在奉天日本總領事館通化分館

S

161533

098

REEL No. A-0783





記録付名

あゆ

皇細亞局  
機密公第三號

第一課甲

中山

昭和四年壹月拾壹日接受

昭和四年一月四日

新加坡

領事代理 中野高一

外務大臣御對 田中義一殿



易幟ニ對スル當地支那官民ノ

感想ニ關シ報告ノ件

東三省ニ於ケル易幟實行ニ關シテハ既ニ昭和三年十二月二十九日附機密公第四三六號特信ヲ以テ不取敢報告シ置キタル次第モアル處其(分類)後當地支那側官民ノ易幟ニ對スル感想

敵クニ何レモ異口同音ニ大要左ノ如ク稱ヘ寧ク青天白日旗ノ揚揚ヲ歡迎セル傾アルヲ見タリ

表

東三省民ヲシテ多年戰事ニヨル苛政苛求ノ苦ヲ免レシメ莫ニ平和ト化シ所謂保境安民ノ實ヲ與ケ國利民福ヲ増進セラルニ於テハ南北何レノ政府タト將タキ色旗又ハ青天白日旗ノ何レナルトキ人ノ敢テ開スル所ニ非ス只管永遠ノ平和ヲ欲ノミシキ  
尤モ官邊ニ在リテハ易幟後ニ於ケル東三省民ノ變動ニ來スレ結社宗社黨等ノ跋躐亦此ノ侵入等ヲ防止シ努ムルノ必要アリ仍テ佈告ヲ以テ等ノ取締ヲ嚴重施行スルニ請リ居レリ

S 161533 100

S 161533 099

右何等御参拜之誠告申進不...

本信厚送在冠

在支公使

吉林、哈爾濱總領事

長春、齊齊哈爾領事

并東廳

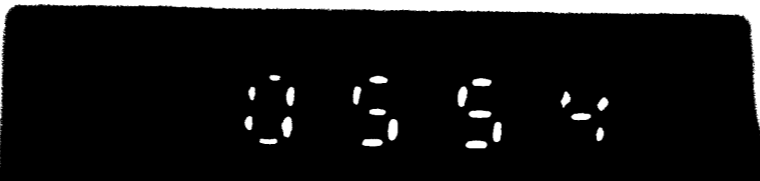
Vertical handwritten text on the left side of the document, including names and titles.

S

161533

101

REEL No. A-0783



15

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

612.015

昭和4 九一 暗

本省 輝春

一月四日後着

亞

田中外務大臣

望月分館主任

第二號

青天白日旗掲揚ニ關シ客年十二月二十三日附張總司令ヨリノ訓令ノ大要左ノ如シ

國民政府ヨリ東三省カ新國旗ヲ掲揚スルハ國家カ完全ニ統一セラレ對外的關係モ極メテ有利ニ展開シ得ヘキ旨ニテ其掲揚ヲ要請シタリ而シテ東三省民衆カ動モスレハ東三省ノ對外的地位關係カ全然南方ト同一化シタリト曲解シ反日運動ノ舉ニ出ツル事アラハ日本軍閥ノ感情ヲ害シ由々シキ問題ヲ惹起スヘシ

易職問題

外務省

S

161533

102

REEL No. A-0783

0555

アジア歴史資料センター

米

易情問題

電信寫

66.1.5.1-2-84

昭和4 一〇七

平

華盛頓 本省

一月五日前着

情

出淵大使大久保

第一號

田中外務大臣

一、各新聞ハ奉天側カ青天白日旗ヲ掲揚ニ決シタル経緯ヲ詳述スル  
ト共ニ日本ハ之ヲ阻止スル行動ニ出テサルヘキ模様アリトノ趣  
旨ヲ報スル支那且ノ他各方面ノ電報ヲ掲載シ居レルカ紐育「ヘ  
ラルド、トリビューン」「バルチモア、サン」費府「レコード」  
「インクアイラー」華府「ポスト」同「スター」等ハ社説ヲ  
掲ケ何レモ斯クシテ支那ノ統一カ漸次其ノ緒ニ就キツツアル事  
ヲ祝福スルト共ニ其ノ多數ハ右統一カ未タ皮相ノ域ヲ脱セスシ

テ同國內部ニ幾多ノ議論存スル事ヲ指摘セリ將又前途方ノ態度  
ニ關シ「バルチモア、サン」ハ日本ノ如ク強大ナル隣邦カ妥協的  
態度ニ出テ來レルハ支那ノ前途ニ對スル希望ヲ深カラシムト爲シ  
紐育「ヘラルド、トリビューン」及費府「インクアイラー」ハ日  
本モ遠カラズ支那ノ新シキ事態ヲ認メ他ノ列國ト同様對支新條約  
關係ニ入ルナラント述ヘ居レリ  
三十二年二十八日國務長官ヨリ支那公使ニ對シ對佛獨條約等ト同趣  
旨ノ新仲裁裁判條約締結方ヲ申入レタル趣同省ヨリ發表セラレタ  
リ  
英佛ニ郵送セリ

海外新聞  
米...

S

161533

104

S

161533

103

REEL No. A-0783

アジア歴史資料センター

(公. 海. A / 15. 1-2-P-2)

四一六前

海軍次官  
軍令部次長

記録付名簿  
一五  
久保田在  
着発  
東州武官

久保田在  
東州武官

タナレハ、

當地在泊ノ定海同安ハ一月三日マデハ艦首旗ニ五色  
旗ヲ掲揚シ居タルモ四日以來艦首旗ヲ掲ゲ居ラズ、

六日

S

161533

105

亞細亞局

普通第八號

昭和四年一月七日

在ハバロフスク

總領事 山口 爲 太

外務大臣男爵 田 中 義 一 殿



滿洲內國民政府旗掲揚ニ關スル新聞論評譯報ノ件

本件ニ關シ極東地方執行委員會機關紙ハ本月三日ノ紙上ニ別紙要譯ノ如キ論評ヲ掲ゲタルニ付何等御參考迄送付ス

本信寫送付先 在露大使 奉天總領事 在支公使

(分類 A615.1-2-2-2)



滿洲ニ於ケル國旗ノ變更ニ付テ

滿洲ニ國民政府旗ガ掲揚セラレタガ此事ハ奉天ノ南京政府承認ニ關シ最後のニ成立シタ協定ノ外面的表示デアアル

奉天ニ於テノ出來事ハ一層際立ツタモノデアツテ彼處デハ新國旗ガ掲揚セラレタ許リデナク司令部ノ入口ニハ「黨組織準備委員會」ノ門標ガ打付ケラレタト同時ニ官憲ヨリ南京ニ於ケル各種政府機關ノ組織法視察ノ爲メ專任代表ガ派遣セラレ彼等ノ歸還後總テノ政府機關ノ改造ニ着手ス可キ旨ヲ發表セラレテ居ル

斯ノ如クニシテ滿洲ニ於テハ恰モ政治的ニ極メテ重大ナル出來事ガ成成シ遂ゲラレタルガ如キデアアルガ實ハ奉天官憲ノ南方承認問題ハ昨年夏極メテ危イ形ヲ採ツタノデアツテ當時奉天側ガ今日ト類似

S

161533

107

S

161533

106

ノ歩調ニ出ル事ニ反對シタ日本政府ハ直接的脅迫ニ走ラザルヲ得ナ  
カツタノデアツタ  
日本政府ハ「居留民保護」ニ必要デアルヨリモ過カニ多數ノ軍隊  
ヲ滿洲ノ野ニ送り得ルコトヲ極メテ露骨ニ仄カスコトヲ辭セナカツ  
タ此ノ脅迫ニ驚カサレタ張學良ハ日本トノ衝突ヲ避ケテ南方トノ協  
定問題ヲヨリ好都合ノ時期迄延期スルコトニナツタ  
其ノ時期ガ今日到來シタノデアアル奉天ハ昨夏中日本ト南京ト双方  
ニ外交的交渉ヲ履行シタ、張學良ハ日本トノ間ニ如何ナル協定ノ存  
在ヲモ否定シテハ居ルガ之ヲ信用スル事ハ極メテ困難デア  
ル  
昨年夏秋ノ間「私人」ノ資格ヲ以テ奉天ヲ訪問シタ著名ナ日本外交  
家ノ多カリシコト又奉天大官ノ日本ヘノ答禮等ノ事實ハ交渉ノ行ハ

BT

161533

108

S

レテ居タ事ヲ物語ルモノデアツテ滿洲ニ於ケル新鐵道建設問題ニ關  
シ日本ノ輕卒ナ行動モ亦未完成ノモノナリトハ云ヘ兎ニ角話合ノア  
ツタコトヲ證明スル事實ヲ曝露セシメタモノデアツタ  
次ニ他方支那現在ノ政情ハ張作霖北京撤退當時ト全ク事情ヲ異ニ  
スルコトヲ述べ、英、白、伊諸國ノ南京政府承認後日本ハ孤立ノ  
地位ニアルコトヲ言ヒテ日本ガ滿洲ヲ國家的自治單位トシテ存置  
ス可ク固執シ得サルニ至ツタ事情ノ外日本ガ滿洲ノ政治的變化ニ反  
抗シナイデアラウト思ハレル向一ツノ根本的理由ハ滿洲ニ國民政府  
旗ガ掲揚サレ奉天官憲ガ黨籍ニ入ルトモ實質上ニハ從來ト何等ノ變  
化モナイデハナイカデアルトテ張學良ハ勿論、現在彼ノ幕僚ニシテ  
年老ヒタ統帥、<sup>形</sup>玉璞、山東ノ馬賊張宗昌ガ國民黨籍ニ入ロウト

BT

109

161533

S

モ何ノ變化ガアルダロウカ唯新規ナコトハ奉天ノ彼等ガ自己ノ犯  
行ヲ南京ノ叛逆者等ト同様ニ孫逸仙ヨリノ引用句ヲ以テ隱蔽セント  
スルコトデアロウト擲論シテ結論ニ入り

勿論支那統一ナル表面的事實スラ多少ノ形式的意義ヲ有シテハ居  
ルガ決シテ之ヲ買被ツテハイケナイ此事實ハ王正廷ノ對日交渉ニ於  
テ彼ノ位置ヲ稍有利ニ導クコトノ他ニ何物モナイ

斯クノ如ク滿洲ニ於ケル國旗ノ變更ニ依テ亞細亞大陸ノ此方面ニ  
於ケル政治的情勢ニ何等カノ深刻ナル變改ヲ少クトモ近キ將來ニ期  
待スルコトハ出來ヌ

ト結ンデ居ル

BII

S

161533

110

REEL No. A-0783

0560

アジア歴史資料センター



亞細亞局

第一號

昭和四年一月廿八日

機密公第五號

昭和四年一月八日

在 赤 峰

領事館事務代理 中 根 直



外務大臣男爵 田 中 義 一 殿

易戰後ニ於ケル地方民心ニ關スル件

當地ニ於テ青天白日旗掲揚ノ次第ハ曩ニ往電第一號ヲ以テ及報告置キタルカ屬右易戰ニ關スル熱河ヨリノ命令ハ十二月三十一日當地交涉署第十七旅司令部縣公署等ニ到着シタルモ中學校ヲ除ク外青天白日旗ヲ準備シタルモノナク各官公署ハ忽々之カ製作ニ著手シ商民ハ

在 赤 峰 日 本 領 事 館

S 161533 111

(分類) 46.15.1-2-8-2

從來中學校生徒カ手工課ノ餘暇ニ製作セルモノヲ購ヒ正月一日始メテ市内ニ之カ掲揚ヲ見タリト雖尙一部分ニ止マレリ  
同日市内官民約三十名ハ中學校講堂ニ於テ新年互禮會ヲ行ヒタルカ席上赤峰縣知事ヲ始メ官紳數名ノ演說アリタルモ單ニ抽象的ニ支那ノ統一ヲ祝賀スルノ趣旨以外ニ出テス中學校教員及一、二生徒モ演壇ニ登レルカ是等又國民ノ自覺覺ニヨリ舊套ヲ脱シ新支那ヲ建設スヘシトノ議論ヲナシタルニ過キサリシ趣ナルカ其ノ後聞ク所ニ據レハ當日生徒等ノ内ニハ更ニ過激ナル排外的演說ヲナスヘク草稿ヲ準備シタル者アリシ趣ナルモ當館木庭部長等ノ出席ヲ見タル爲校長ノ注意ニ依リ演說ヲ差控エタルモノナリト云フ  
其ノ後省政府委員等ノ發表アリ(往電第二號ノ通り)地方官憲等ハ

在 赤 峰 日 本 領 事 館

S 161533 112

湯玉麟ノ省主席就任ニ依リ大ニ愁眉ヲ展キタル觀アルモ土著ノ人等ハ湯玉麟、佟 兆元、郇 克莊、梁 國棟、金 鼎臣等奉天系ノ優勢ニ引替ヘ南方系トシテハ李元著（李ニ就テハ之カ名ヲ知ル者當地ニハ絶無ニシテ只同人ノ名カ北方ノ有力者中ニ見當ラサル爲）殷ニ南方人ナラムト憶斷シ居レリ一人ニ過キサルヲ見頗ル失望シ青天白日旗ノ掲揚ニ對シテモ毫モ特殊ノ感興ヲ湧カシ居ラサルモノ、如シ唯學生等ハ頃來意氣甚タ軒昂タルモノアリ京津方面ノ學生團體<sup>トモ</sup>相當ノ聯絡ヲ保チ居ルヲ以テ排日運動等ニ對シ頗リニ機會ノ到達ヲ切望シ居ル觀ニシテ萬<sup>ニ</sup>他日此種風潮激發ノ際之カ嚮導ヲナスモノハ學生等ナルヘキニ付本官ハ同校長ノ近親者乃至地方官憲等ヲ通シテ之カ牽制ニ努メ<sup>ツ</sup>、アル次第ナル處當地商人等トシテモ市上ノ在貨力大

在赤峰日本領事館

S

161533

113

半本邦品ナルノミ<sup>ナ</sup>ラス爾餘ノ貨物モ產地ヲ辨識スル能ハサルモノ多ク<sup>ニ</sup>朝學匪等ニヨリテ亂暴至極ナル検査等行ハレムカ其ノ結果ハ内外品一律ニ大損害ヲ蒙ルヘシトナシ憂慮シツ、アルモ未タ商務會等ニ於テ對策ヲ考究スル迄ニハ至リ居ラサルモノ、如シ  
嬰之青天白日旗ノ掲揚ニ對シテハ一般ニ頗ル冷淡ナル態度ヲ持シ湯玉麟歸任（目下尙未定ナルモ或ハ舊十二月中旬同人老母ノ誕生日ヲ過キテ離奉赴任スルユアラヌヤト稱セラル）後ノ施政如何ヲ興味ヲ以テ待チツ、アリ又排日乃至排日貨運動等ニ對シテハ學生中一部事ヲ好ム者ノ間ニ不穩ノ意圖ヲ抱ク者アル外一般ニ平靜異狀<sup>ナ</sup>シ  
右報告申進ス

本信寫送附先

在支臨時代理公使

在奉天總領事

在赤峰日本領事館

S

161533

114

(分類 46.15.12-8-3)

夏細亞局

公信第二號

昭和四年一月八日

在鐵領

領事 近

藤

信



外務大臣 野田 中 義 一 殿

易幟掲揚前后ノ情況報告ノ件

客臘十二月二十九日朝來當地支那側諸官衙率先シテ一齊ニ青天白日旗ヲ掲揚セル旨不取敢客年往電第三三號ノ通りノ處鐵領縣公署ハ諸官衙ハ十二月二十九日ヨリ一週間商民ハ一月一日ヨリ三日間南北統一祝賀

第一課

昭和四年壹月拾四日接受

記

S

161533

115

ノ趣旨ヲ以テ一齊ニ青天白日旗掲揚方ヲ布達シ各商戸ハ十二月三十一日迄ニ夫々白日旗ヲ準備セシメ一月一日ニハ全市悉ク掲揚セリ旗幟ハ豫メ商務會ニ於テ急造準備シ大旗ヲ奉大洋三百元小旗ハ十八元ヲ以テ強制的ニ各商戸ニ賣付ケタル爲メ相當非難ノ聲ヲ放ツ者アリ而シテ易幟掲揚ニ對スル一般民意トシテハ概シテ無頓着ニシテ官令ニヨリ止ムルヲ得ス掲揚セル感アリ鐵領以外開原昌圖兩縣公署モ何レモ保安總司令ノ令達ニヨリ十二月廿九日ヨリ白日旗掲揚方鐵領縣同様ノ佈告ヲナシ正月一日ヨリ全部掲揚シ其他法庫康平諸縣ニ於テモ右同様ト認メラル尙ホ易幟ハ突差且ツ秘密裡ニ斷行セラレ當方ニハ何等ノ通知ナカリシヲ以テ交渉局長ニ口頭ヲ以テ談話シ置キタリ此段報告ス

S

161533

116

REEL No. A-0783

0563

アジア歴史資料センター